

一九九八年(平成十)度の大分県地方史研究大会・総会は六月七日(日)午前一〇時から大分県立図書館第二・三研修室で開催された。飯沼賢司委員の総合司会で進行し、午前中に会員研究発表、午後総会・公開講演が行われ、午後三時半過ぎ閉会した。参加者約六〇名。大会の概要は以下のとおりである。

(一) 会員研究発表(一〇・〇〇〜一二・〇〇)

海老沢衷(早稲田大学教授)

「室町期における豊後国荘・郷政所体制の成立について」

一」

小野英治(弥生町)

「梅牟礼城(付小山田城)と水賀城」

岡村暢哉(大分市美術館建設準備室)

「近世民衆運動における寺院・僧侶の役割

―伊予国浮穴郡大宝寺を例に―」

ここ数年発表者は4名であったが、本年度は発表時間、質問時間を十分にとってもらうため3名とした。内容の濃い発表

表、質疑応答であった。

(二) 総会(一三・〇〇〜一三・四〇)

座長に芦刈政治氏(三重町)を選出。豊田寛三会長のあいさつに引き続き、委員の改選及び一九九八年度の委員会体制について事務局から提案があり、原案どおり承認された。

新役員は次のとおり。

会長 豊田寛三

顧問 H・チースリック、秋月睦男

参与 芦刈政治、勝目忍、後藤重巳、末広利人、染矢

多喜男、西別府元日、中野幡能、橋本操六、野

田秋生(新)

委員長 小泊立矢

委員 飯沼賢司、長田弘通、小玉洋美、後藤正二、後

藤宗俊、佐藤晃洋(新)、佐藤満洋、渋谷忠章、

秦政博、田中裕介、長野浩典(新)、平井義人

(新)、安田晃子

監事 加藤泰信(新)、吉田豊治(新)

事務局

(総務担当) 飯沼賢司、長田弘通

(会計担当) 安田晃子、田中裕介

(編集担当) 佐藤満洋、後藤正二

(研修担当) 平井義人

なお、長年顧問を努められ本会発展に大きく寄与された高山虔三氏は、平成十年三月になくなりました。つつしんで御冥福をお祈りします。

次に第一六回大分県地方史研究奨励賞について事務局から報告があった。奨励賞は、その年度に刊行された会誌に掲載された論文から選考することになっているが、昨年度刊行の三誌(一六六、一六七・八合併号、一六九)のうち一六六号と一六七・八合併号はともに故渡辺澄夫先生の追悼号である。このことから本年度は選考対象となる論文が少なく、本年度の一七〇〜一七三号掲載のものを含め改めて来年度選考したい、というものである。出席者の承認を得る。

議事は左記の三件である。

一、一九九七(平成九)年度事業・会計報告とその承認

二、一九九八(平成十)年度事業計画案について

三、一九九八(平成十)年度会計予算案について

一号議案について事務局から説明があり、全会一致で承認

された。ついで吉良洋一監事から、会運営は適正に行われている旨の監査報告があった。

二、三号議案については、事務局の報告を受け、承認を得た。

本年度の会誌発行は、例年どおり四冊四号を左記の予定で刊行する。

一七〇号(九八年 七月刊) 編集 渋谷忠章

一七一号(九八年 十月刊) 編集 長田弘通

一七二号(九九年 一月刊) 編集 田中裕介

一七三号(九九年 三月刊) 編集 小玉洋美

研究会活動は、毎月第二土曜日に三部会のローテーションで実施している。各部会の責任者は次のとおりである。

古代・中世史研究会 三重野 誠

近世史研究会 平井 義人

近現代史研究会 長野 浩典

なお中世文書研究会は、現在休会中である。

(三) 公開講演(一三・五〇〜一五・三〇)

広島大学教授頼祺一氏が、「頼山陽のみた豊前・豊後」のテーマで講演された。

研究会活動の概要は次のとおりであるが、出席者の少ない会もあり、会員の積極的な参加を望むものである。

古代中世史研究会

年月日	報告者	テ	ー	マ
九七・七・一二	鹿毛敏夫	大友氏の府内の町支配		
十・十一	安田晃子	豊後国における蹴鞠の展開		
九八・一・一〇	三重野 誠	文禄二年豊後国臼杵庄御検地帳惣町屋敷の分布		
四・二五	長田弘通	中世後期における大友氏と由原宮		

近世史研究会

年月日	報告者	テ	ー	マ
九七・八・九	桜井成昭	近世国東の寺院とムラ		
十一・八	芦刈政治	踏絵紀行について		
九八・二・十四	平井義人	大蔵永常の板本の研究		
五・九	佐藤満洋	大名の隠居・家督願いについて		

近現代史研究会

年月日	報告者	テ	ー	マ
九七・九・一三	荒川良治	近代大分県の観光―県下の観光地と鉄道網―		
十二・一三	吉田豊治	大分県における高等工業学校の誘致について		
九八・三・一四	長野浩典	戦争記念碑の成立と変遷―大分市を中心にして―		

古代中世・近世史合同研究会

年月日	報告者	テ	ー	マ
九七・六・一八	五野井 隆史	ペトロ岐部カスイの生涯		
	中野 等	近世成立期の豊後		
十一・二三	桑山浩然	秘伝書・装束・家元制		
	渡辺 融	蹴鞠のあそびどころ		